

平成 16 年度日本痴呆ケア学会読売痴呆ケア賞「奨励賞」



松 本 一 生 (まつもと いっしょう)

松本診療所・高齢者メンタルクリニック・院長

1956 (昭和 31) 年 11 月 10 日

【授賞理由】

松本氏が取り組んでいる、家族へのカウンセリング、共感的サポートは在宅におけるケアを重視した現在の施策には重要な意味をもつものである。また、同氏のこの精力的な活動は、介護職員のストレスケア、地域ネットワーク作り等へと発展している。この一連の活動に対し、本賞を授与し、その活動を讃えるものである。

【略 歴】

1983 年 3 月	大阪歯科大学卒業
1983 年 3 月	歯科医師免許第 88210 号取得
1983 年 5 月～1991 年 4 月	松本診療所歯科 (痴呆老人の在宅歯科治療)
1990 年 3 月	関西医科大学卒業
1991 年 5 月	医師免許第 336796 号取得
1991 年 5 月～現在	関西医科大学附属病院精神神経科学教室 (非常勤)
1992 年 8 月～現在	松本診療所メンタルクリニック (2001 年より院長)
1996 年 10 月	精神保健指定医取得
1998 年 4 月～現在	大阪府高齢者総合相談センター (現社会福祉研修情報センター) 痴呆相談担当医 (兼任)
2000 年 4 月～現在	佛教大学高齢者福祉 (非常勤講師) 兼任
2001 年 4 月	日本老年精神医学会専門医および指導医取得

【褒賞等】

2003 年 11 月 日本痴呆ケア学会石崎賞受賞

【業績および功績】

歯科医師となった 1983 年から、痴呆など在宅療養を続ける高齢者の歯科治療をはじめ、医師となった 1991 年からは精神科医 (老年期専門の精神科) として高齢者にかかわり、現在に至るまで市井の臨床医をしている。

とくに精神科医として、家族を支援することをモットーとし、痴呆などの精神的問題をもつ高齢者とともにある家族のカウンセリング、共感的サポートを 1992 年から続けている。1993 年ごろから「在宅における高齢者虐待」に取り組み、近年では加害者となるまでの介護に追いつめられた家族のサポートをしている。また、介護保険以後は介護職の燃えつきを防ぐため「支援者のストレスケア」にも取り組むとともに、保健相談にも取り組み、①大阪市社会福祉研修情報センターの痴呆相談医 (1998 年から)、②大阪市旭区保健福祉センターの老人 (精神) 相

談を 1992 年から続けている。

医療，保健，福祉，介護すべてが協力できる地域の体制づくりのためには，常に「痴呆性高齢者と家族へのまなざし」が必要であることを訴え，その実践の場として，講演に力を入れている。講演会に参加した人々が講演で得た情報を広めてくれることを願い年間 40 にも及ぶ講演を行っている。

〈主な著書〉

『家族教室のすすめ方；心理教育アプローチによる家族援助の実際』（分担執筆）金剛出版（1998）

『痴呆性老人の在宅ケア』（分担執筆）中央法規出版（2000）

『高齢者介護と心理』（分担執筆）朱鷺書房（2000）

『家族はこんなふうになる』（痴呆高齢者の場合）（分担執筆）昭和堂（2002）

『家族療法リソースブック』（高齢者部分）（分担執筆）金剛出版（2003）

『ケアするひとのハンドブック「家族のケアを支える」』（分担執筆）財団法人たんぼぼの家（2004）